

資料 1. 村上総合病院移転後の跡地の活用について

(1) 村上総合病院移転後の跡地を含めた地区の位置づけ

大規模跡地等の活用の検討ポイント【前提条件】

- 病院移転後の跡地は、複数の機能を持たせ「多目的」な活用
- 「病院移転後跡地」と「旧ジャスコ跡地」を一体とした活用
- 周辺の社会資本【既存施設（機能）】を考慮した活用

5つのキーワード（配慮すべき視点≒評価の視点）

- ① 公共性 : 広く市民に利用され、市民福祉の向上に資する（施設である）こと
- ② 共存 : 周辺の商店街や民間事業者と競合せず、共生できる（施設である）こと
- ③ 調和 : 周辺の環境、立地条件に相応しい（施設である）こと
- ④ 活性化 : 中心市街地の活性化（賑わいの創造）に資する（施設である）こと
- ⑤ 費用対効果 : 限られた投資においても、その投資効果が確保されること

当該地区が果たすべき役割

- ①「市民生活の質の向上」を第一に考えるべき場所
- ②多様な市民のために開かれた空間で、その機能は公的な整備により持続的に確保されることが望ましい
- ③時間・曜日を問わず多様な市民が活動する場所
- ④今ある機能（活動）に、今は無い機能（活動）を加えることで、市民の新たな交流を生み出すチャレンジ空間

<まちづくりの最重要課題>

人口減少と少子高齢化が進む社会における対応

- 機能集積による効率化
- 高齢者の社会参加/○子育て環境づくり

<地区の位置づけ>

市民交流促進地区

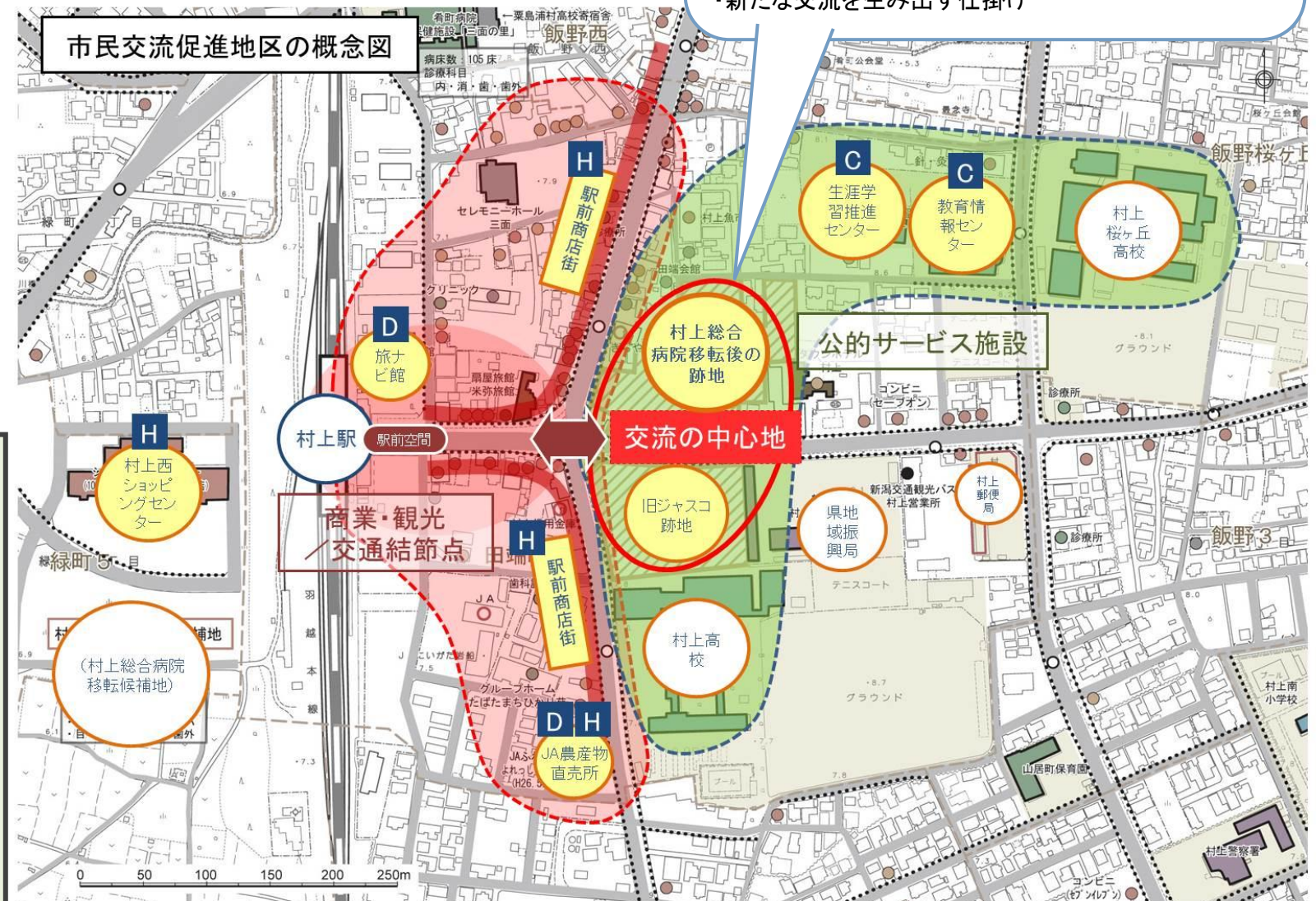
～市全体に新たな魅力と活力を生み出す市民交流の中心地区～

【整備イメージ】

- 子どもからお年寄りまで多様な市民が集まる場
- 様々な出会いと新たな交流活動を生み出す場
- 生活の安心と心の豊かさを高めてくれる場
- 市民の元気と活力を創造する場
- 村上市に暮らすことへの誇りと愛着を育む場

[第5回策定委員会で出された意見]

- ・市内の他の地区からも来たくくなるような施設
- ・子育て環境の充実
- ・「駅前を日本一の福祉の地域に」
- ・親子で長時間利用できる施設、土日でも利用できる施設
- ・新たな交流を生み出す仕掛け

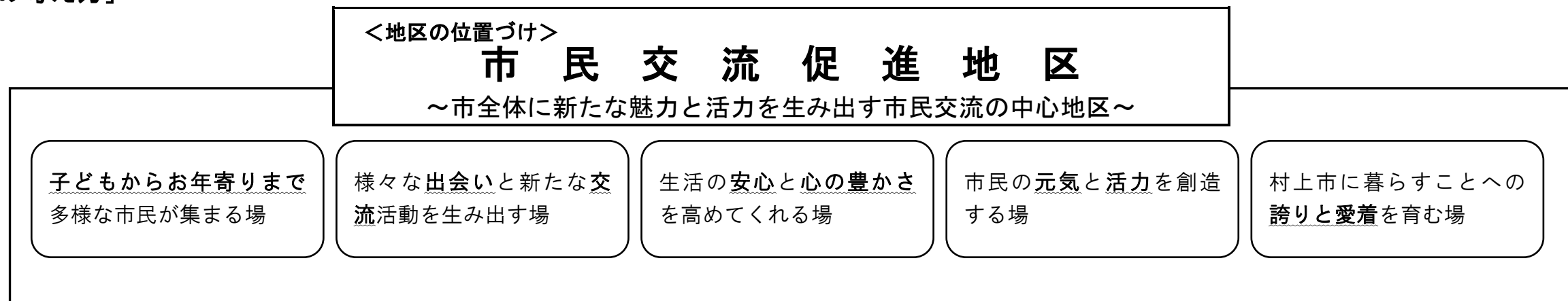


(2) 想定される機能と機能導入の考え方・基本方針

[想定される機能]

機能	A. 児童福祉	B. 高齢者福祉	C. 文化・交流	D. 観光交流	E. 防災拠点	F. 公園・広場	G. 駐車場	H. 商業
施設例	・保育園 ・病児・病後児保育施設 ・子育て支援センター	・老人福祉センター	・文化センター ・体育施設	・観光交流センター ・観光物産館	・防災センター (避難施設等)	・公園 ・広場	・駐車場	・小売店 ・飲食店 ・アミューズメント

[機能導入の考え方]



- ・「A. 児童福祉」、「B. 高齢者福祉」は、人口減少と少子高齢化への対応のなかで、子育て環境づくり、高齢者の社会参加に結びつき重要。
- ・「C. 文化・交流」は、子どもからお年寄りまで幅広い市民の利用、交流の場として活用が期待できる。
- ・「D. 観光交流」は、駅前に観光案内所が新設されたことや、観光来訪者のみを対象とした場合の安定的な利用に課題があげられる。
- ・「E. 防災拠点」、「F. 公園・広場」、「G. 駐車場」は、近接する旧ジャスコ跡地でも対応可能な機能である。
- ・「E. 防災拠点」、「G. 駐車場」は、日常の賑わい創出につながりにくい。
- ・「H. 商業」は、出店の可能性、運営主体、持続性について十分考えて整備しなければいけない。

[機能導入の基本方針]

「A.児童福祉」・「B.高齢者福祉」・「C.文化・交流」による機能を基本とし、他の機能や仕掛けを加えることで更なる魅力や交流を創出する。

(3) 機能配置の例

先に掲げた基本方針に基づいて想定される組合せを例として示したものです。(整備の選択肢を提示するものではありません。)

	例 1	例 2
施設イメージ	子ども・子育ての総合支援施設	高齢者が元気に活躍する総合福祉施設
整備のねらい・考え方	<p>◇交通アクセスの利便性を活かした子育て支援の新たなサービスを提供する場</p> <p>◇保育と子育てのネットワークの拠点として子育て世代をサポートする場</p> <p>◇ここに来れば、いつでも、誰でも、憩い・集い・語らうことができる交流空間</p>	<p>◇高齢者の健康増進と社会参加を促すための活動の場</p> <p>◇高齢者と子どもや若者との「和」と「輪」が広がる新しい交流の場</p> <p>◇ここに来れば、いつでも、誰でも、憩い・集い・語らうことができる交流空間</p>
基本となる機能	<p>【A】児童福祉①: 就学前児童の保育 一般保育及び特別保育(乳児保育・障害児保育・土曜保育・延長保育・一時預かり)などを行う場。</p> <p>【A】児童福祉②: 子育て支援の拠点 育児情報の交換や相談・指導など子育て支援の中心拠点。子どもと家族が過ごせる場。</p> <p>【A】児童福祉③: 病児等の受け入れ 病気の治療中・回復期にあつて集団保育が困難な期間に、一時的にその児童の預かりを行う場。</p>	<p>【B】高齢者福祉: 高齢者の活動拠点 定年退職者などの高年齢者を対象として、健康で生きがいのある生活の実現、福祉の向上、地域活性化に貢献するための活動拠点。</p> <p>【A】児童福祉②: 子育て支援の拠点 育児情報の交換や相談・指導など子育て支援の中心拠点。子どもと家族が過ごせる場。</p> <p>【A】児童福祉④: 放課後の児童受け入れ 小学生を対象として、放課後の居場所、活動の場を提供し、元気な高齢者も参画して遊び等の指導を行う場。</p>
	<p>【C】文化・交流①: 遊び場 雨天時や冬期でも、子どもと大人と一緒に楽しめる全天候型の遊戯・軽運動ができる場。外出の目的地になるような場所。</p> <p>【C】文化・交流②: たまり場 施設利用者だけでなく、周辺施設利用者(高校生・勤め人)、地区住民、観光来訪者など、誰もが自由に憩い・集い・語らう“たまり場”的な交流スペース。青少年の居場所となりうる開放的な空間。</p>	

●上記を基本としつつ、以下の機能や仕掛けを付け加えることで魅力を更に高められるのではないかと? (これまでの意見等を踏まえたもので、必須のものではありません。)

更なる魅力や交流を創出する機能・仕掛け	【C】イベント・催し	交流や賑わいを創出するため、イベントや催しを曜日を問わず開催したらどうか。 例: 作品の展示スペース、ミニ講演会・教室、テレビ・ラジオ等の公開放送、市場※(定期市、朝市、フリーマーケット等)、イベント会場※(観光、地区コミュニティや高校等のイベント会場) など
	【C】多目的スペース	間仕切りを設け、会合や研修など利用者の多様な用途に対応できる部屋(スペース)を設けたらどうか。
	【H】飲食する場	軽飲食ができる喫茶コーナーを設けたらどうか。チャレンジショップ的な場所を設けたらどうか。障がい者や高齢者の雇用につながるような場所を設けたらどうか。
	【他】行政サービス	行政サービスの窓口機能を設置したらどうか。

A. 児童福祉、B. 高齢者福祉、C. 文化・交流、D. 観光交流、E. 防災拠点、F. 公園・広場、G. 駐車場、H. 商業

※: 市道を挟んだ「旧ジャスコ跡地」での展開も想定されるもの。

(4) 評価の方法について

病院移転後の跡地に整備する施設は、5つのキーワードにより機能の妥当性を評価します。(施設整備の検討の際に活用することを想定しています。)

表. 5つのキーワードと機能評価の具体的なチェックポイント

視 点	基本的な考え方	チェックポイント (案)
①公共性	広く市民に利用され、市民福祉の向上に資する(施設である)こと	<input type="checkbox"/> 1. 市民が自由に利用できる空間がある <input type="checkbox"/> 2. 市民の生活に安心感を与える空間や機能がある <input type="checkbox"/> 3. 子どもが利用できる <input type="checkbox"/> 4. 若者(高校生や20代程度)が利用できる <input type="checkbox"/> 5. お年寄りが利用できる <input type="checkbox"/> 6. 地区居住者が利用できる <input type="checkbox"/> 7. 他地区(旧村上地区以外)の市民も利用できる <input type="checkbox"/> 8. 市外からの来訪者が利用できる
②共 存	周辺の商店街や民間事業者と競合せず、共生できる(施設である)こと	<input type="checkbox"/> 1. 同様の機能を有する施設が地区内に存在していない <input type="checkbox"/> 2. 施設を利用する人が、既に存在している施設も利用する(波及効果) <input type="checkbox"/> 3. 既に存在している施設の利用者が利用する(相乗効果)
③調 和	周辺の環境、立地条件に相応しい(施設である)こと	<input type="checkbox"/> 1. 周辺住民の居住環境や生活活動と一体となっている <input type="checkbox"/> 2. 公共交通の利便性を活かすことができる <input type="checkbox"/> 3. 建物の意匠が地区全体のイメージや景観に調和している <input type="checkbox"/> 4. 村上の顔として市民が自慢できる・誇りに思える場所である
④活性化	中心市街地の活性化(賑わいの創造)に資する(施設である)こと	<input type="checkbox"/> 1. 平日昼間での賑わいを創出できる <input type="checkbox"/> 2. 平日夕方から夜間での賑わいを創出できる <input type="checkbox"/> 3. 土曜・休日での賑わいを創出できる <input type="checkbox"/> 4. イベントや催しの会場として活用できる <input type="checkbox"/> 5. 地区内の経済活動にプラスの影響を与えることができる <input type="checkbox"/> 6. 多様な市民の出会いや交流が生まれる
⑤費用対効果	限られた投資においても、その投資効果が確保されること	<input type="checkbox"/> 1. 利用率(稼働率)が高い ※ <input type="checkbox"/> 2. 季節による利用率の変動が少ない ※ <input type="checkbox"/> 3. 曜日や時間帯による利用率の変動が少ない ※ <input type="checkbox"/> 4. 整備や維持管理のコスト縮減に配慮している <input type="checkbox"/> 5. 経年にわたり安定した利用が見込める ※

※定量的な数値目標の設定を想定するもので、専門的見地から検討することが望ましいもの。

注: 太字は、これまでの委員会では出された意見を反映したもの。